

市では、移住を検討している人へ、市の暮らしを体験していただくために、宿泊費や交通費の一部を補助する「移住お試し滞在補助金」、無料で利用できる「移住お試し住宅」の短期滞在支援事業を行っています。

今号では、この事業を活用して東京都から移住された小川裕介^{ゆうすけ}さんを紹介します。



I N T E R V I E W 移住者の声

人との出会いが結んだ移住

小川 裕介さん (31歳)

1986年生まれ、東京都町田市出身。出版業界などを経て2016年、フリーライターとして独立。翌17年に妻とともに都内から十和田市へ移住。
https://twitter.com/yusuke_ogawa06
 連絡先 yusuke.ogawa06@gmail.com

移住のきっかけは？

いずれは東京を離れ、地方で暮らしたいと妻と話をしていました。フリーライターとして独立したことで、本格的に移住を検討するようになり、新潟県や宮城県など複数の候補地の中から、暮らしやすさと人との出会いが決め手となり、十和田市に移住することにしました。

移住の決め手になったことを教えてください。

十和田市は日用品の買い物などは不便ないですし、街の規模がちょうどいいですね。街並みが美しく、トワレや図書館などの公共施設も一人一人が使えるスペースが広く、無料Wi-fiも整備されていて、贅沢な環境です。東京と比較して商業施設の数などは確かに少ないですが、私たち夫婦が求める暮らしやすさがありました。

また、移住前は十和田市での暮らしや人に溶け込めるか心配でしたが、商店街のオープンスペース14-54やその他の店舗などに足を運び、地域の人や先輩移住者と交流する機会を持てたことで、安心感が生まれました。

「移住お試し滞在補助金」「移住お試し住宅」を活用した感想は？

移住を検討するには、まず候補地へ行ってみる必要がありますが、交通費や宿泊費が結構かかるので躊躇するものです。「移住お試し滞在補助金」や「移住お試し住宅」を活用し、滞在中にスーパーを巡ったり、賃貸物件を探したり、先輩移住者の話を聞いたりして、まちのことを深く知ることで、移住後の暮らしをイメージできました。

移住して大きく変わったことは？

妻と2人で出かける機会が増えましたね。温泉に行ったり、近隣の市町村にも出かけたりしています。東京は人が多いので出かける機会は決して多くなかったのですが、十和田市に来てからは、以前よりはアクティブになった気がします。

今後の目標と市民へのメッセージをお願いします。

色々な人との出会いを大切に、妻と共に楽しく暮らしていきたいです。移住者として、十和田市や青森県を情報発信し、たくさんの人に知ってもらえる活動ができればと考えています。

ライターとしては、イベントや企業様の取材記事作成、各種PRなどのお手伝いができます。十和田市の皆さまのお役に立てれば嬉しいです。



TOWADA "HIBI" COLLECTION.
 It's a pleasure to meet you. And Welcome back.

移住情報発信ポータルサイト「日々コレ十和田ナリ」では、小川さんが活用した「移住お試し滞在補助金」や「移住お試し住宅」などの移住支援事業の紹介や、移住者による座談会の様子を発信しています。

子育てをテーマにした座談会に小川さんも登場しています。ぜひご覧ください。



先輩移住者と座談会后に記念撮影



十和田 移住 日々コレ 検索